

J-SOX法に向けた富士通の取り組み

2006年9月29日

富士通株式会社
内部統制事業推進室
古庄 裕司

本日のアジェンダ

I. J-SOX法の概要

II. 内部統制強化に向けた対応

III. 富士通の取組み

【ご参考】 内部統制の高度化に向けて

～米国での取組み～

I. J-SOX法の概要

日本における内部統制をめぐる制度・法制

東証(東証規則)

1. 適時開示に関する当取引所への**宣誓**(社内体制の開示を別添で義務化)。
2. 有価証券報告書に不実の記載がないと**経営者が認識**している旨の当取引所への通知。 等

法務省(会社法)

1. 取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして法務省令で定める**体制の整備**。
(会社法348条、362条、416条)。
2. 対象:大会社(資本金5億円以上または負債200億円以上)
3. 2006年5月1日より施行。

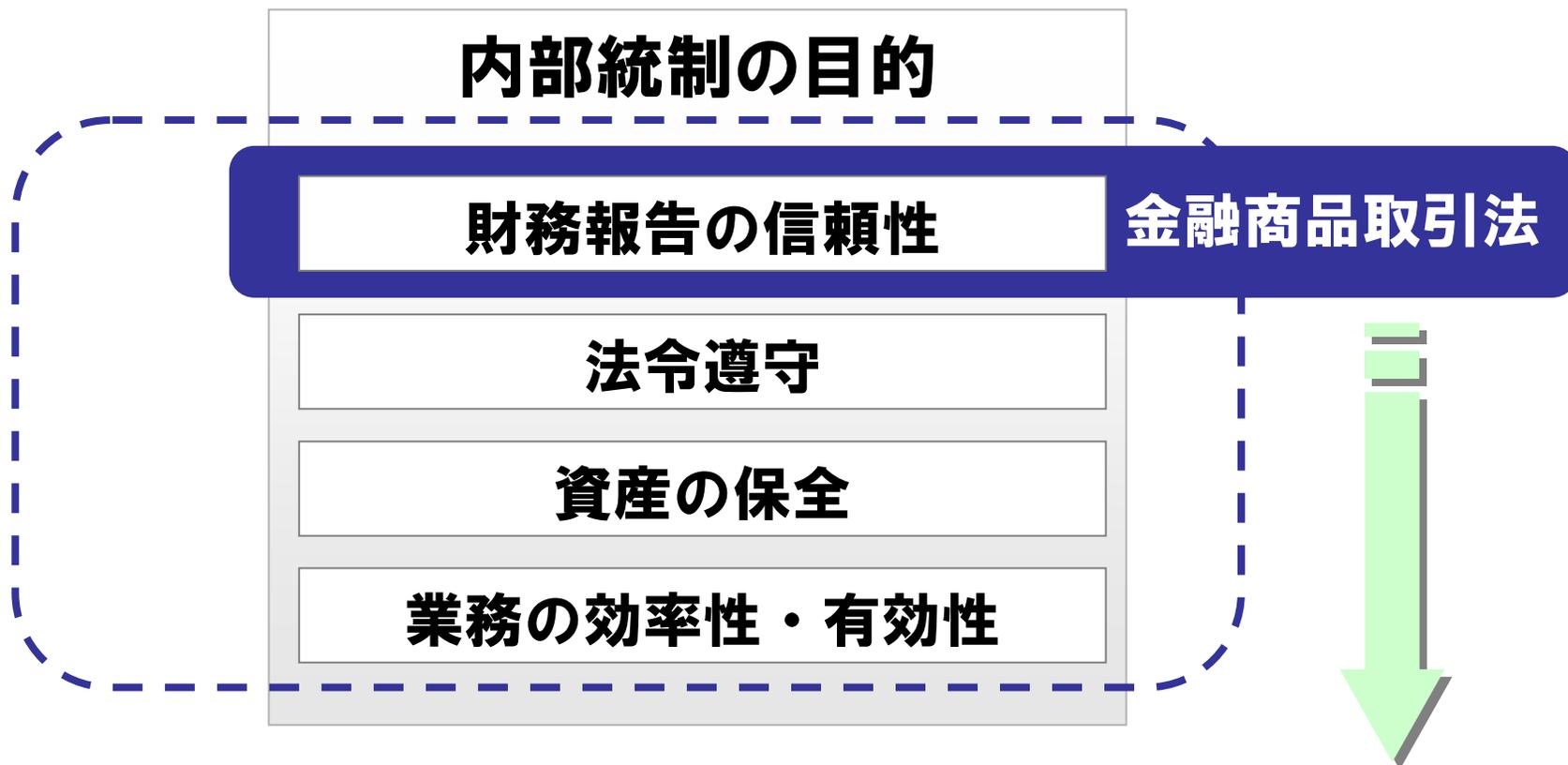
金融庁(金融商品取引法)

← 通称”J-SOX法”

1. 財務計算に関する書類その他の情報の適正性を確保するための体制の評価制度の整備
 - ・内部統制報告書の義務付け
 - ・内部統制報告書の外部監査人による監査証明の義務付け(金融商品取引法 第24条の4の4 第193条の2第2項)
2. 対象:上場企業
3. 2008年4月1日以降に始まる会計年度より適用。

要求される内部統制の範囲

■ 金融商品取引法で求められる内部統制の範囲

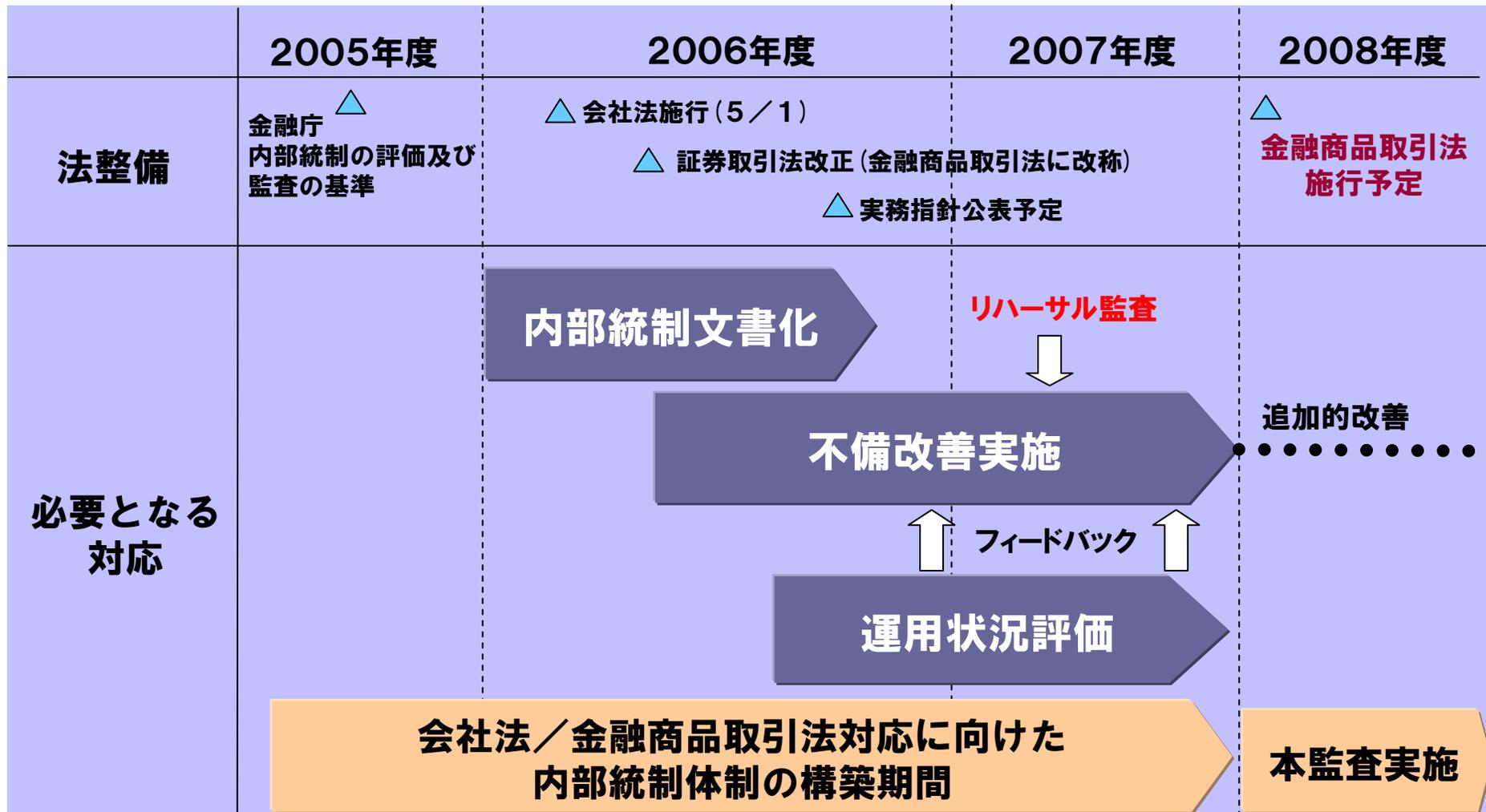


財務報告に係る内部統制システムの自己評価・外部監査結果を内部統制報告書として公表

II. 内部統制強化に向けた対応

日本における法整備の状況と対応

■内部統制構築を義務付ける証券取引法の改正を含む、「金融商品取引法案」を閣議決定
⇒ 3月決算の企業は、2008年4月1日（2009年3月期）より適用予定



このスケジュールは、3月期決算企業を想定しています。

内部統制整備作業の進め方

- 内部統制の現状を確認し、不備内容を把握、会社として必要な統制を整備

タスク1:現状調査

内部統制文書化

■ スコープの決定

- － 対象拠点・子会社
- － 対象ビジネス・製品

■ 文書化の実施

- － 全社レベル統制
- － 業務プロセス統制
- － IT全般統制

タスク2:GAP改善

不備改善実施

■ 整備状況評価

- － 不備項目の抽出
- － 不備改善計画策定

■ 不備改善の実施

- － 内部統制強化
- － IT基盤整備
- － 業務改革・効率化

タスク3:内部統制評価

運用状況評価

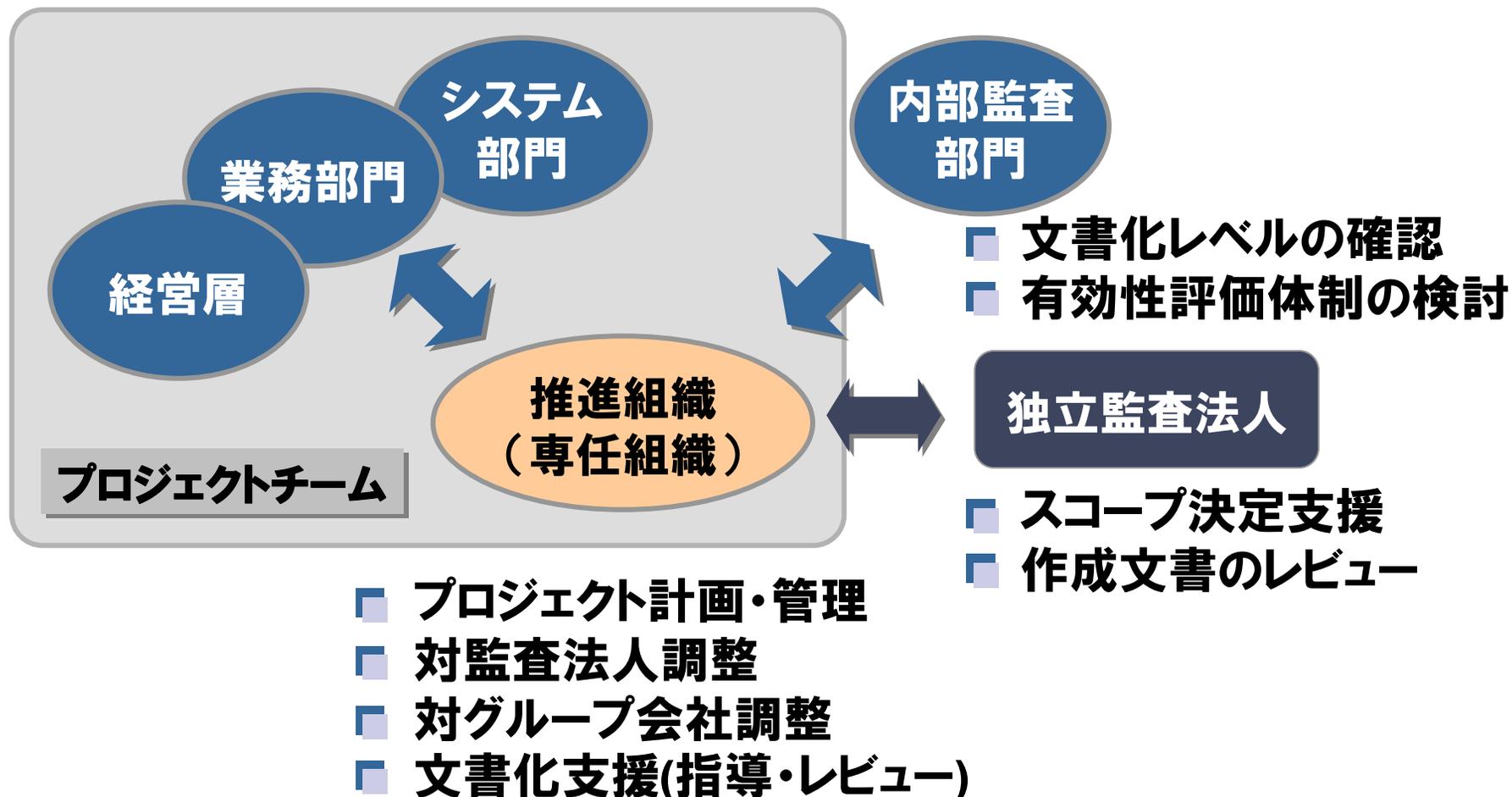
■ 運用状況評価

- － 不備項目の抽出
- － 不備改善計画策定

- 外部監査人による
リハーサル監査
- 外部監査

① 文書化フェーズの推進体制

- 既存ドキュメント調査
- 現場調査(インタビュー等)
- 文書化作業実施

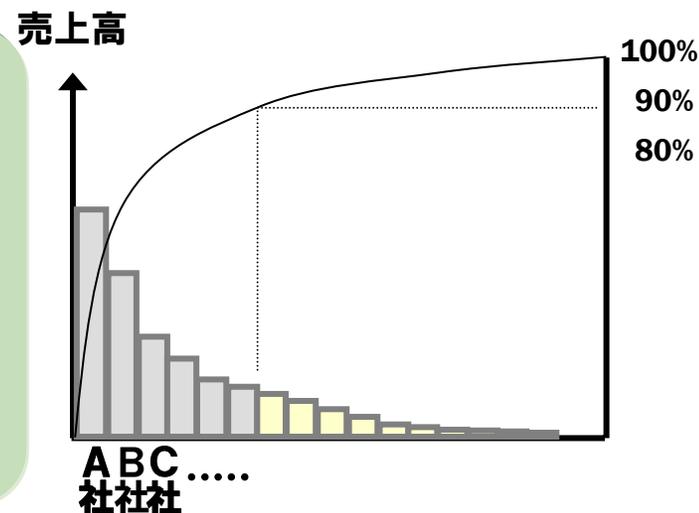


② 計画策定と対象範囲の設定

■ 「重要な勘定科目の識別、事業拠点、業務プロセス」の特定を行う

対象範囲(スコープ)決定の方針を策定する

重要な勘定科目(B/S、P/L、キャッシュ・フロー計算書、注記など)を識別し、その値(対「売上高」比率、対「総資産」比率含む)が、連結のある水準を超えるものがある拠点・会社を抽出する。抽出された拠点・会社の合計でこれらのカバー率を確保できるようになるまで抽出の範囲を広げる。



財務諸表→詳細勘定科目を分析することにより、対象拠点(部門)と、購買、販売、投資、給与、等12の「基幹プロセス」を認識する。

スコープ決定の方針および結果について
独立監査法人と合意することが重要
⇒ 実施基準公表後

② 計画策定と対象範囲の設定－基幹プロセスの例

基幹プロセス

1	販売
2	製造 (SE開発含む)
3	調達
4	修理
5	研究開発
6	棚卸管理
7	固定資産
8	投資
9	給与人事
10	経理
11	財務
12	税務

ビジネスプロセス

1	SI
2	アウトソーシング
3	パッケージ
4	保守
5	プロダクト
6	店頭PC
7	携帯電話
8	グローバル
9	HDD
10	電子デバイス
11	その他

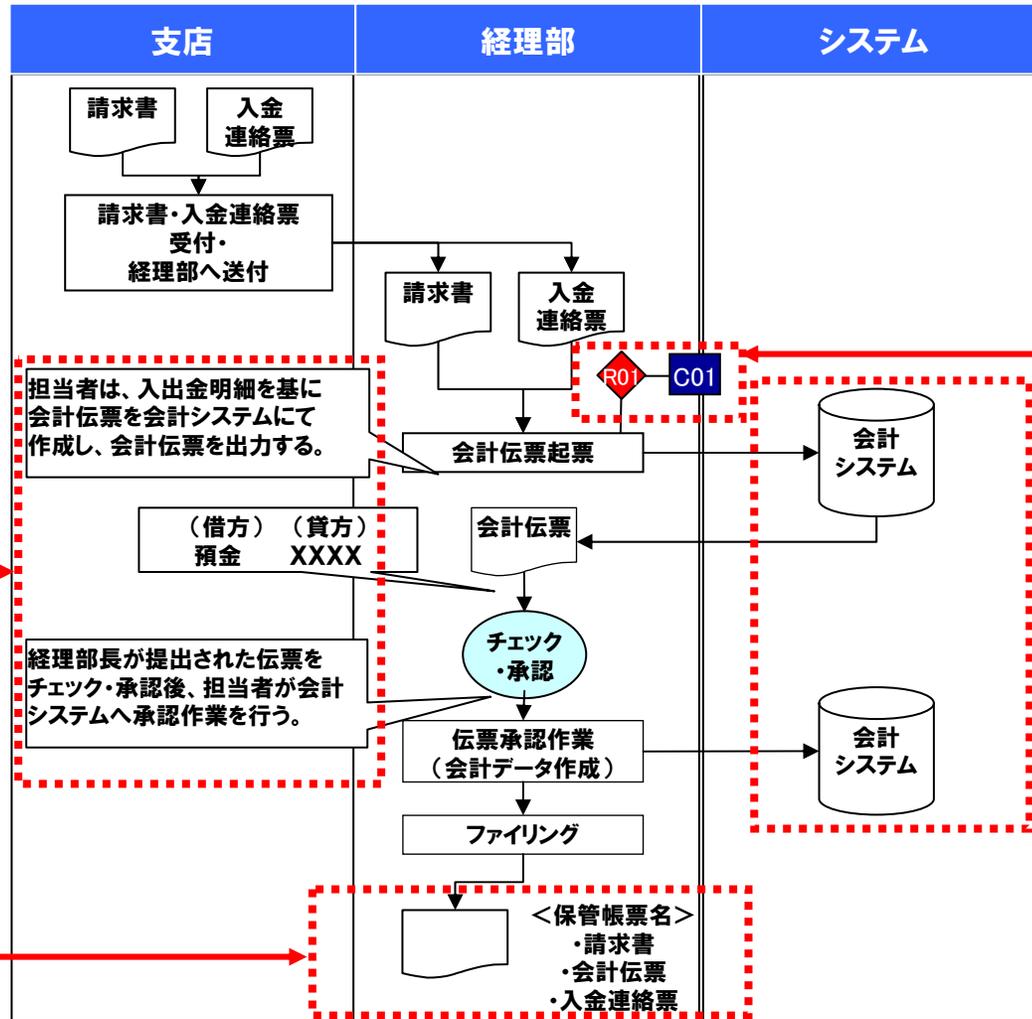
プロセス

1	商談(与信含む)
2	提案
3	契約・受注
4	顧客検収
5	売上・請求
6	回収

サブプロセス

1	商談発掘
2	与信
3	商談決裁
4	商談登録

③ 業務の文書化－業務プロセスフロー



③ 業務の文書化－RCM(リスクコントロールマトリックス)

■ 記載内容

- 該当プロセス／サブプロセス
- 該当内部統制の目的
- 該当統制が機能しない際のリスク
- 開示項目が正しいための条件・要件(アサーション)
- 統制の種類(予防的／発見的、**自動／手動**)
- キーコントロール
- 頻度
- 内部統制の内容
- 参考資料・マニュアル
- 内部統制の評価
- 該当統制の所轄部門

自動統制(システム処理)内容の把握が必要

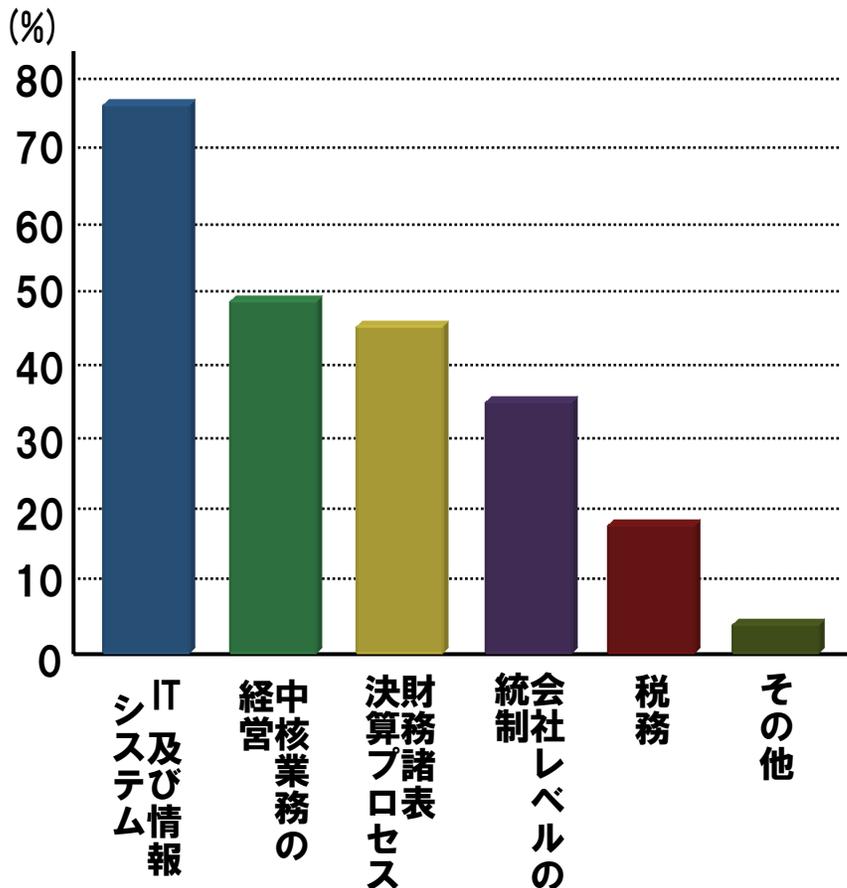
■ 統制文書イメージ(一例)

リスク		関連 勘定 科目	アサ ーシ ョン	コントロール							
リスク通 番	リスク項目			コント ロール 通番	コントロール項目	関連資料	コントロール 実施の証跡	コント ロール の種類 (予防的・ 発見的)	コント ロール の種類 (自動・ 手動)	コント ロール 頻度	コント ロール 担当部門

① 不備が発見される分野

パイロットの間、重要な是正を要した領域は？

【404条関連の統制の重要な是正を要した領域】



- 76%の企業で、ITシステムに対する統制が重要な是正を要した。
- 48%の企業で、コア・ビジネスの業務に対する統制が重要な是正を要した。
- 45%の企業で、財務諸表決算プロセスに対する統制が重要な是正を要した。
- 調査対象企業の34%で、会社レベルの統制が重要な是正を要した。
- 興味深いことに、税務の領域で重要な是正を要した企業は、わずか17%であった。

所見

- 是正対象に特定された領域は、早期適用会社で特定された領域とほぼ同じである。
- 早期適用会社において重大な欠陥がより多く検出された最も一般的な領域は、財務諸表決算プロセス、会社レベルの統制、税務などであった。

② 代表的な不備の一例

■ 人・組織の問題

- ◆ 要員数やスキルが十分でない
- ◆ あるべき職務分離ができていない

■ 業務プロセス

- ◆ 方針・手続きが不適正
- ◆ 文書化が十分に行われていない
- ◆ 統制の証拠（証憑）が残っていない

■ ITの問題

- ◆ アクセス管理が十分でない
- ◆ 職務分離・特権者への牽制が十分でない

ERNST & YOUNGが2004年5月にリリースした「内部統制における最近の動向」
(第2回調査)によると、「欠陥の大半はIT領域、特にIT全般統制にある」とのこと

➡ 整備状況不備の68% (うちIT全般は42%)、
運用状況不備の58% (うちIT全般は32%)

III. 富士通の取り組み

2006年度 重点6分野の一つに選定

～お客様の経営課題に即した、6分野への集中～

《産業・流通》

《電力・ガス・
情報》

《金融》

《公共》

《地域》

【**拡販重点6分野（業種共通）**】

《お客様の関心が高いテーマ》

インフラ最適化

セキュリティ、運用負荷の軽減、コスト削減

IT運用の向上

CSR
(Corporate Social Responsibility) **セキュリティ、高信頼な運用**

安心・安全

個人情報保護・セキュリティ、事業継続・災害対策

内部統制・環境

内部統制の強化

システム構築効率化

パッケージ活用、財務・会計・ERP

ユビキタス

営業支援、SCM・物流管理

富士通グループの取り組み：PROJECT EAGLE

PROJECT EAGLEの目的

- ◆ 業務の有効性と効率性の担保～『業務プロセスの改革』
- ◆ 財務報告の信頼性の確保（資産の保全）
- ◆ 法令等遵守の徹底

プロジェクトの概要と進捗

- ◆ 2005年6月に推進組織を設け、10月から全社プロジェクトとして活動開始
- ◆ 全社統制、IT全般統制領域における当社グループ全体の活動
- ◆ 2005年12月 社内3プロセスでのパイロットテストを完了
- ◆ 2006年4月～ 順次本格展開

対象範囲 : 国内外関係会社 72社

プロジェクト総延べ人員 : 約300人 (関連人数1,000人以上)

- ◆ 2007年度から年度末の監査対応に向けて試行開始

社内推進体制

社長（プロジェクトオーナー）

The FUJITSU Way 推進本部長（プロジェクトマネージャ）

The FUJITSU Way 推進本部員

富士通グループへ展開

A本部
プロジェクト責任者

B本部
プロジェクト責任者

X社
プロジェクト責任者

Y社
プロジェクト責任者

文書化担当

文書化担当

文書化担当

文書化担当

内部統制ビジネスの意義－業務の見える化

内部統制ビジネス

現状調査・文書化
コンサルティング

業務プロセス
の見える化

統制強化
視点

業務改革
視点

コンサルティング

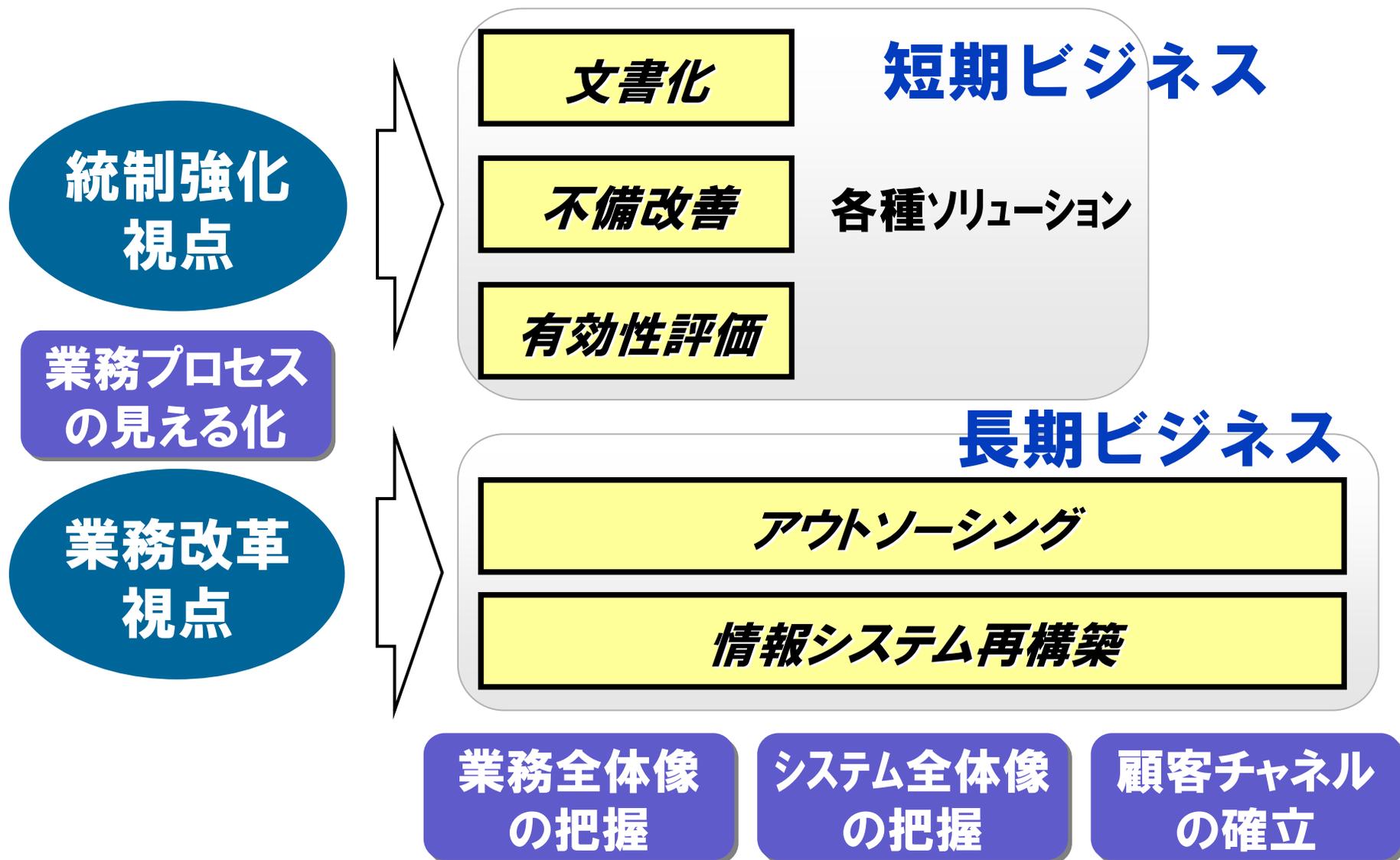
ITソリューション
Valuevision
e文書管理
セキュリティ/ストレージ
Interstage 等

ソリューションビジネス
業務システム改善・刷新
GLOVIA/Summit 等

アウトソーシング

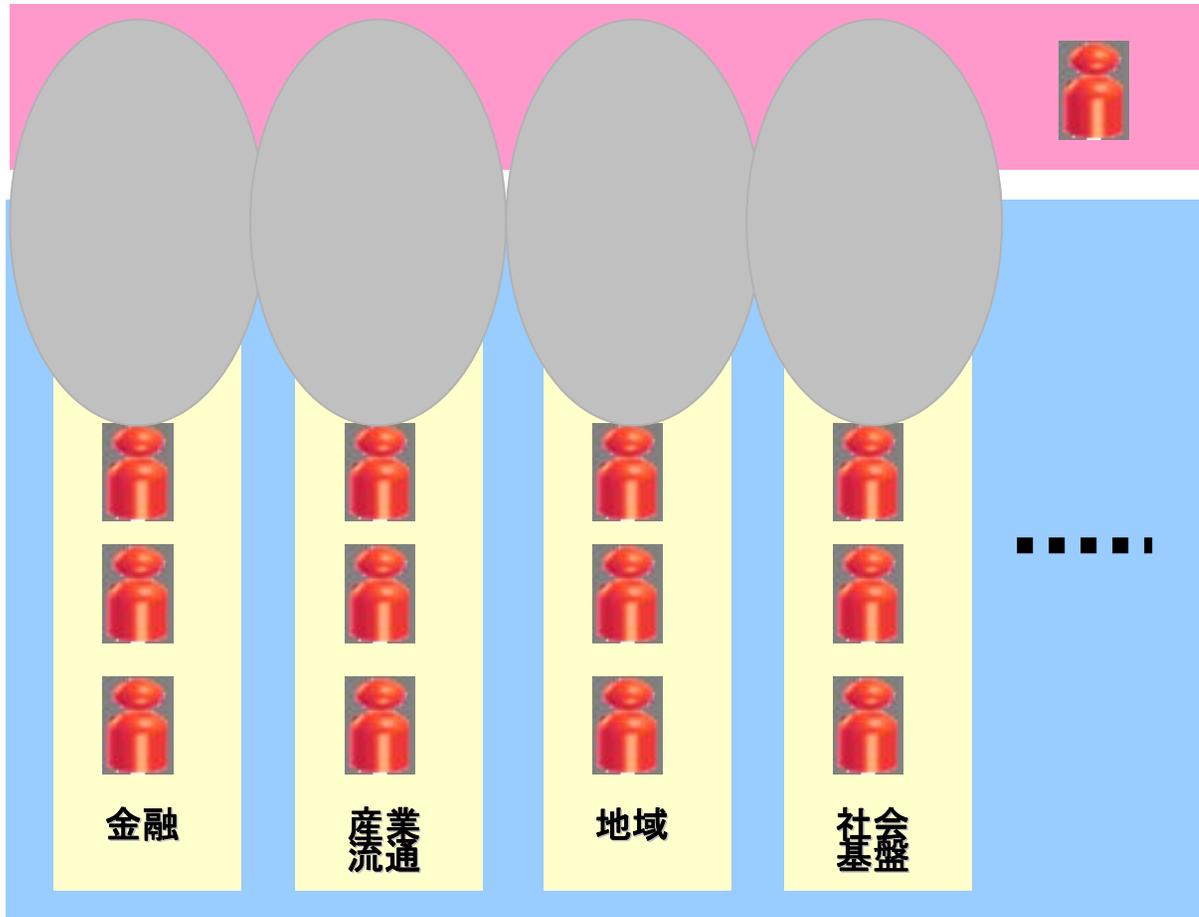
業務改革ビジネス

内部統制ビジネスの意義－短期と長期



内部統制ビジネスの意義－長期ビジネスに向け

コンサルティング



ソリューションビジネスグループ



コンサル・SE
の混成チームで
内部統制コンサル
ティング実施



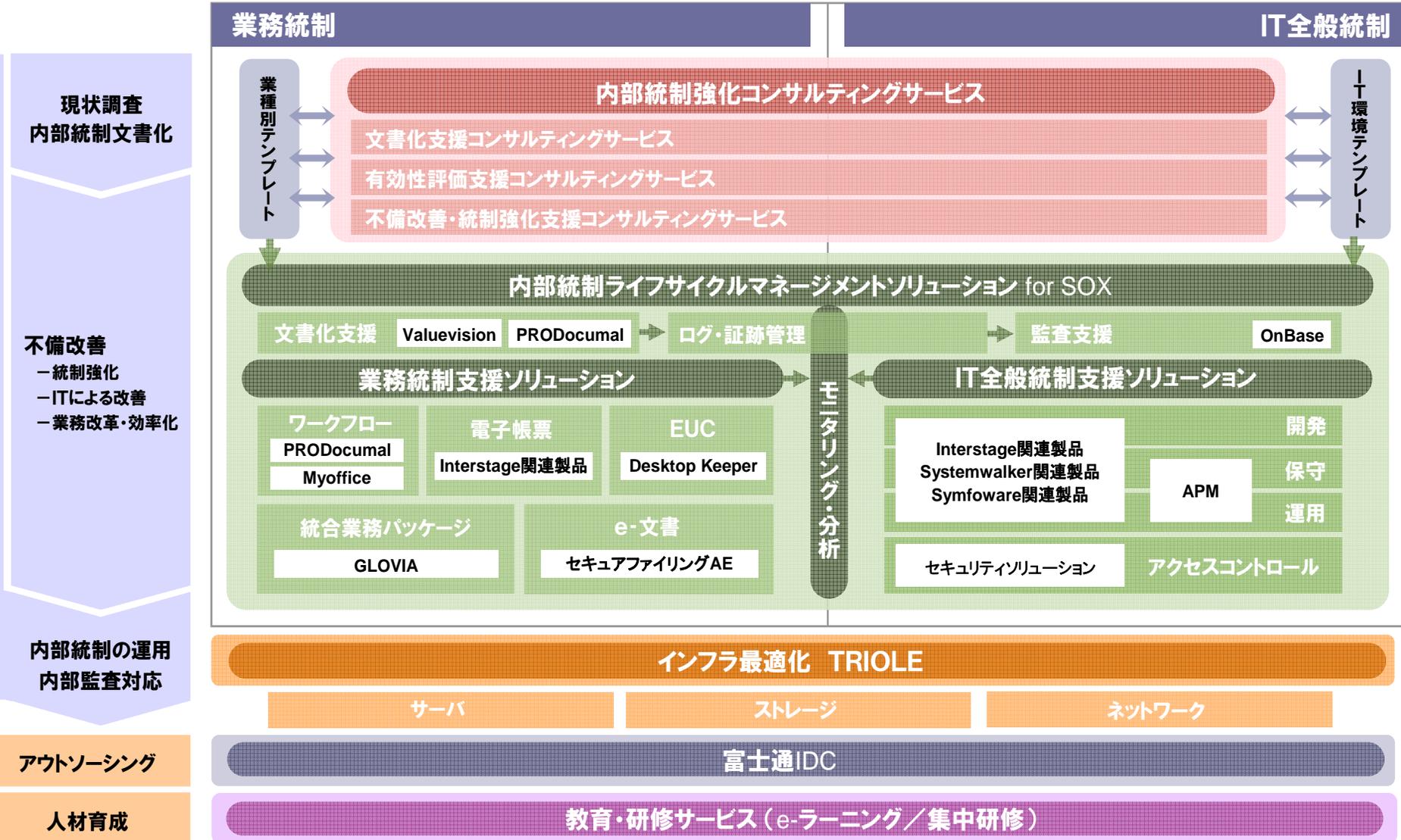
顧客情報の
現場蓄積

円滑な
プロジェクト運営

内部統制強化支援ソリューション体系

お客様における
内部統制プロセス

「内部統制強化支援ソリューション」(2006.5.17発表)



『内部統制強化支援ソリューション』の特長

① 社内実践、米国版SOX対応支援実績に基づくノウハウ

- ・ 各作業フェーズに対応したテンプレート～教育の体系化

② Valuevision

- ・ 3点セット（業務概要／業務プロセスフロー／RCM）における情報連携と整合性確保（自動）

③ お客様情報システム構築・運用支援ノウハウ

- ・ 業務フロー、ITプロセスなどに対する理解と文書化の実績
- ・ 会計科目と業務の紐付け機能 → 『GLOVIA』完全論理仕訳機能 等

④ 豊富な海外対応実績を持つGIM社との協業

- ・ メソドロジー、テンプレート、要員の更なる強化

⑤ 不備改善、統制強化に必要なITソリューション

- ・ GLOVIA、e-文書ソリューション、セキュリティ、ETERNUS 等

当社が提供するテンプレート／ツール全体像

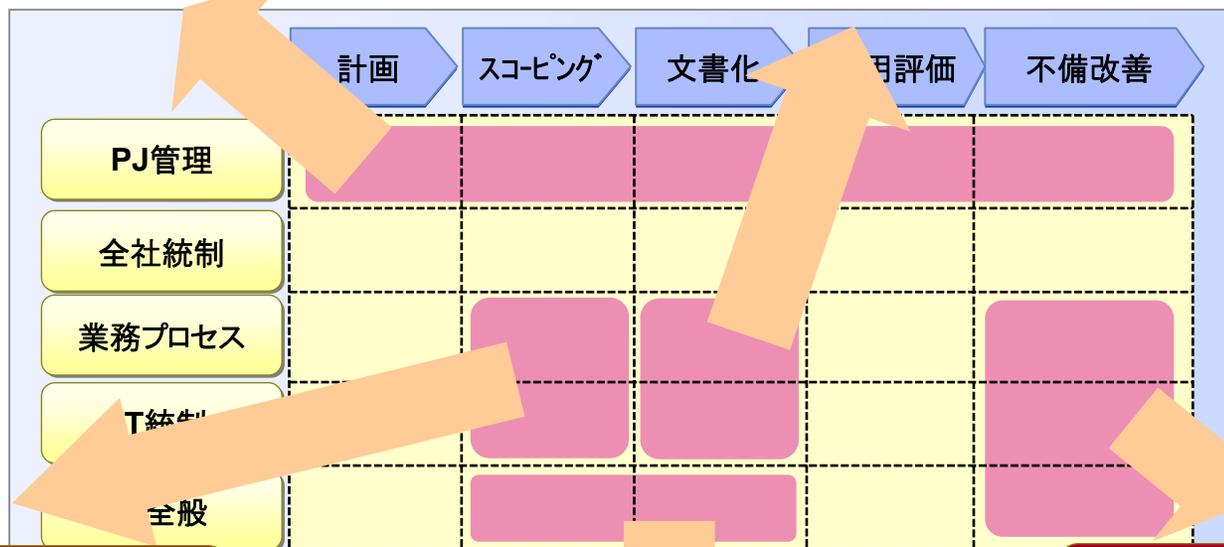
特長①

①内部統制プロジェクト管理 テンプレート

- ・プロジェクト管理全般に関わる標準コンテンツとツールを提供

③内部統制文書テンプレート(3点セット) 業務概要／プロセスフロー／RCM

- ・製造業を始めとした業種別の業務フロー／RCMを雛型として提供



②統制範囲決定(スコーピング) 支援テンプレート

- ・社内実践、GLOVIAノウハウ、米国等の実施事例から統制範囲を提示
⇒スコーピング支援ツールとしてGLOVIA提供

④IT全般統制 支援テンプレート

- ・IT全般統制のコンテンツ(3点セット)を提供

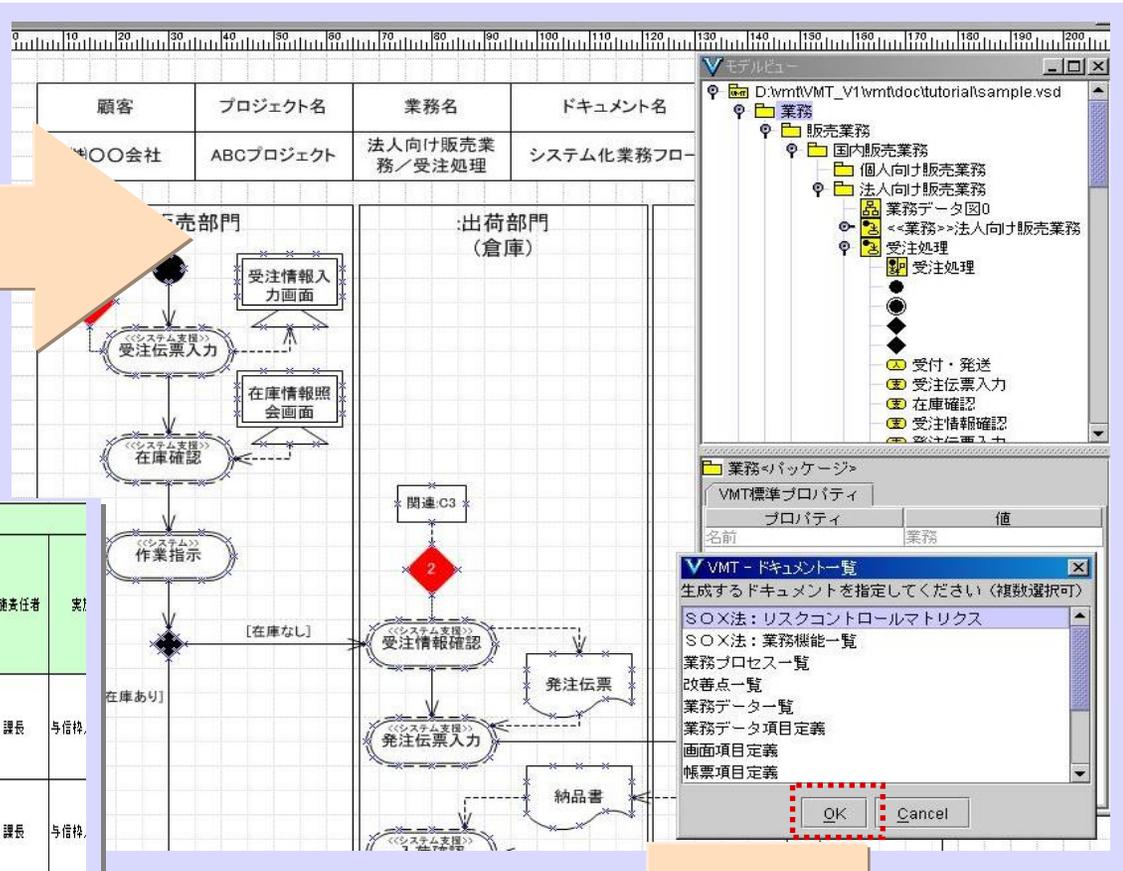
⑤ソリューション テンプレート

- ・不備内容とそれに対応した商品のマッピング表を”型”として提供

文書化を支援する Valuevision

特長②

リスクコントロールマトリクスの修正結果をフローチャートに反映



フローチャートからリスクコントロールマトリクスを生成

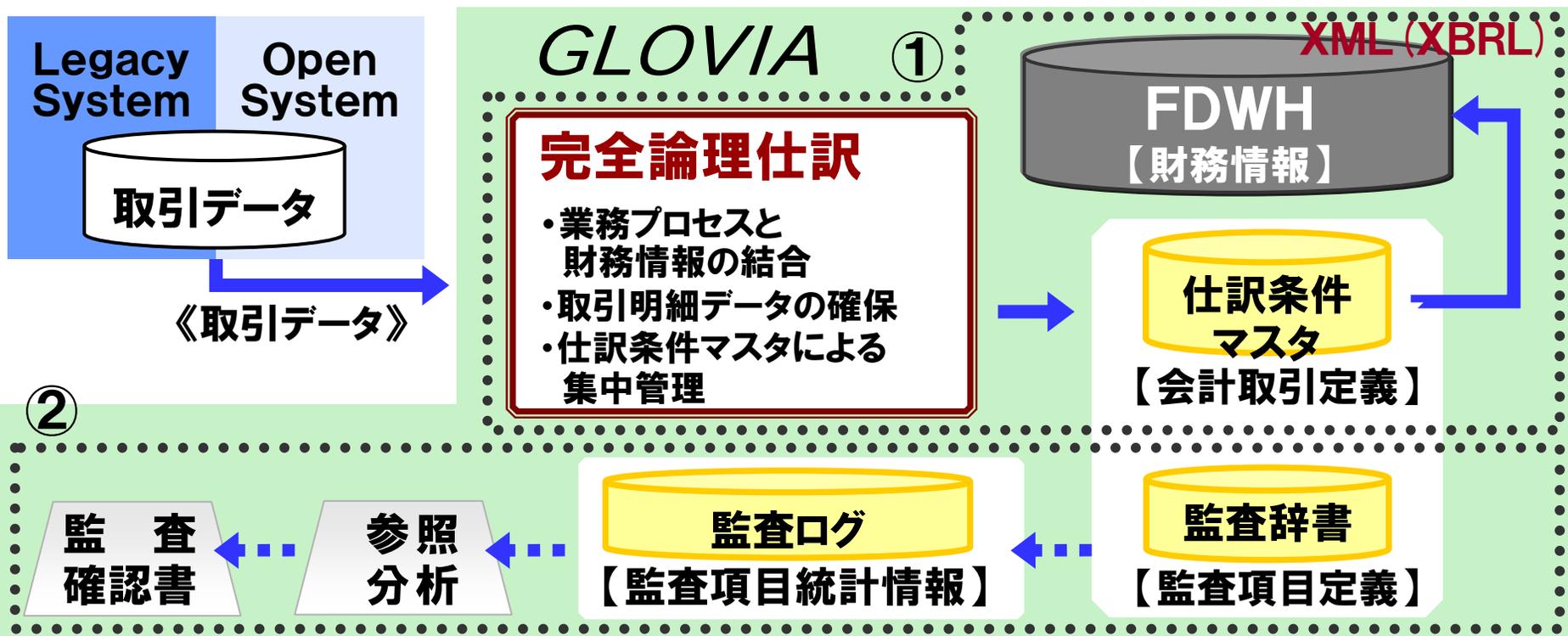
リスク		アサーション				統制								
リスク番号	リスク内容	発生性	評価/配分	回避性	権限/業務	表示/開示	統制番号	統制内容	タイミング	性質	頻度	重要性	実施責任者	実施
R01	架空取引先との取引を行う。	Y	-	-	Y	-	001	課長は、担当者の入力後システムから出力される(1)与信枠入力結果および与信規程を参照し、取引先の財務状況を検討して与信枠の妥当性を確認する。確認後、「(1)与信枠入力結果」の課長印欄に弊印している。	予防的	一次	都度	高	課長	与信枠
R02	貸倒が発生する。	Y	-	-	Y	-	001	課長は、担当者の入力後システムから出力される(1)与信枠入力結果および与信規程を参照し、取引先の財務状況を検討して与信枠の妥当性を確認する。確認後、「(1)与信枠入力結果」の課長印欄に弊印している。	予防的	一次	都度	高	課長	与信枠
							002	与信枠は半期毎に見直ししている。	予防的	二次	半期毎	中	部長	与信枠
R03	注文内容(品種、数量、納期、価格)を正確に受け付けられない	Y	Y	-	-	-	003	担当者は、取引先から受領した(2)注文書の内容を精査し、記入内容の整合性および記入漏れ項目の有無を確認する。	予防的	一次	都度	高	担当者	-
							004	担当者は、販売管理システムより出力された(4)注文諸書を取り先に送付する。送付後、受領済の送付済欄に弊印している。注文諸書の内容に不備があった場合、取引先から連絡が来る慣行となっている。	予防的	一次	都度	中	担当者	-
R04	与信枠を超えた注文を受	Y	-	-	Y	-	006	入力時、事前に設定された与信枠を超えた場	予防	一次	都度	高	-	-

業務統制支援ソリューション－GLOVIA

特長③

財務データの信頼性を確保し、内部統制を支えるGLOVIA

- ①表示の妥当性確保 :ビジネスプロセスを解釈して作成(規定外プロセスは排除)する透明性の高い財務情報の提供
- ②監査支援機能 :取引パターン特性に応じた監査支援機能
- ③SOX共通基盤機能 :ログ強化、セキュリティ強化 等



③GLOVIA SOX共通基盤機能 (ログ・セキュリティ・マスタ承認機能強化)

GIM社概要

- ◆ リスクマネジメントを専門とするコンサルティング会社
- ◆ 2006年2月、Fujitsu Consultingが買収

本社： モントリオール (カナダ)
従業員数： 50名 (内 公認会計士20名程度)

SOX法対応実績

- ◆ 製造、流通、金融、通信など、多業種への対応実績
- ◆ 計画立案～文書化、テスト、教育・研修まで、全体に渡る支援

グローバルベースでの協業

- ◆ メソドロジー・テンプレート相互活用による、グループ全体の基本メソドロジーの確立
- ◆ GIMエキスパートの支援によるノウハウの移転
- ◆ 世界3拠点間 (日本、北米、欧州 (Fujitsu Services)) の意見交換

内部統制を支えるIT基盤 : TRIOLE

特長⑤

IT基盤「TRIOLE」

サーバ

ストレージ

ミドルウェア

ネットワーク

ETERNUS

(2006.4.20発表)

- ◆あらゆるデータの統合を可能にする「接続性」と「拡張性」
- ◆高いデータ処理能力



Interstage

(2006.5.9発表)

- ◆業務プロセスの可視化
- ◆帳票によるアクセス制御

Systemwalker

(2006.5.9発表)

- ◆情報セキュリティ／運用プロセスの統制

『Enterprise Innovation Support Center』

～内部統制／安心安全／環境物流 に関する研修・デモセンター～

教育・研修サービス

《内部統制》

- ・日本版SOX法への対応 基礎
- ・内部統制整備方法とプロジェクトマネジメントの勘所
- ・業務プロセス統制／IT全般統制実践 ～スコーピング・文書化～

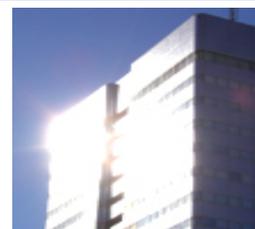
《安心安全》

- ・BC入門～BC策定～モックディザスタ
- ・セキュリティマネジメント入門／実践



《開設》8月23日

《場所》JR浜松町駅
徒歩3分



コンサルティング



デモンストレーション

《内部統制》文書化・PM・文書管理ツール／GLOVIA／監査支援PKG

《安心安全》BCP策定支援ツール／初動対応・緊急連絡ソリューション／セキュリティソリューション

《環境》CO2排出量算出ツール／ECODUCE／環境XML-DB



※写真はイメージ
※研修・デモのメニューは主なもののみ

お客様事例① コンサルティング

【米国上場企業グループ】

米国上場企業グループ内の関係会社（海外30社、国内14社）に対して、米国SOX法404条対応のための「IT全般統制評価（文書化）支援、改善・検証支援コンサルティング」を実施（2005年3月～8月）

欧州（5社）

FS

FS: Fujitsu Services
（欧州）

日本（14社）

FUJITSU

FAL

米州（17社）

FC

FC: Fujitsu Consulting
（北米）

豪州・アジア（8社）

FAL: Fujitsu Australia
（アジア／オセアニア）

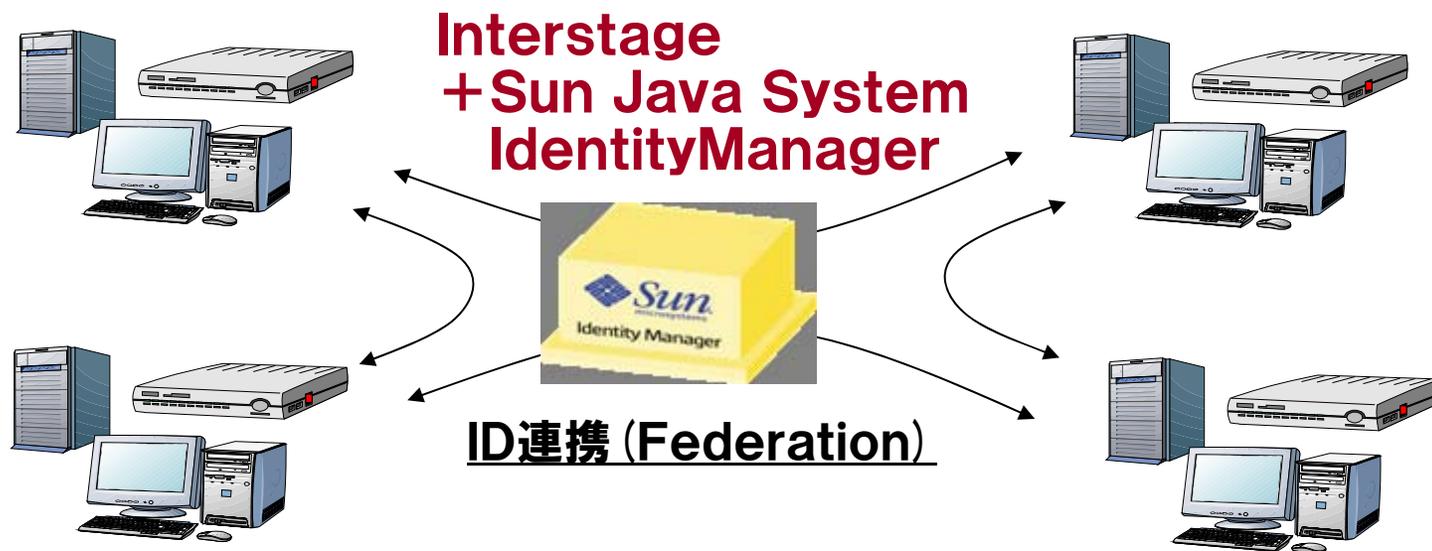
《グローバルサポート力》

- FC（米州： 2,600名）
- FS（欧州： 12,000名）
- FAL（豪州： 2,000名）

お客様事例② ITソリューション ー統合ID管理ー

【金融機関様】

内部操作者のシステムへのアクセス制限を強化する取組みとして
ID発行・管理のプロセスを見える化を実現（マルチプラットフォーム）

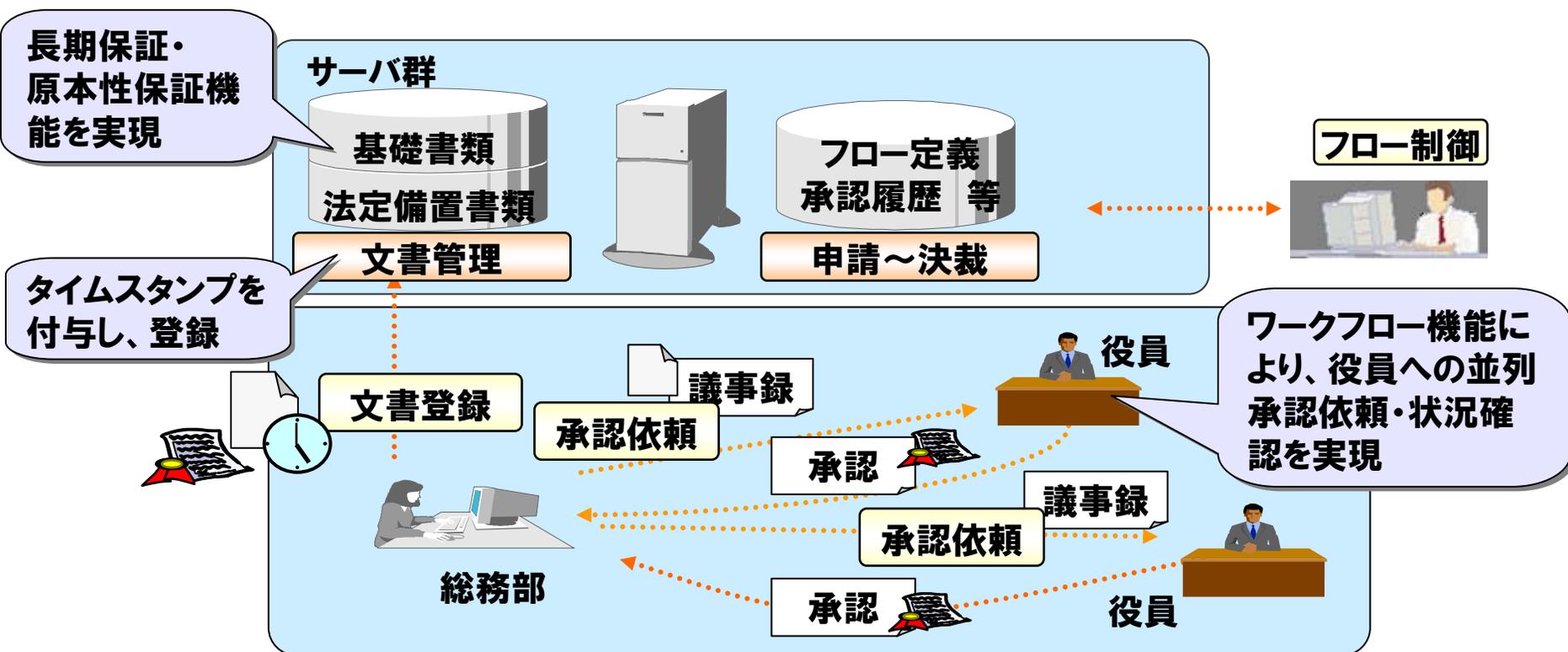


- ① ユーザ情報を一元化
⇒ ゴーストID／手作業による登録ミスを防止し漏洩リスク削減
- ② ロール管理、認可情報のプロビジョニングの実施
⇒ ID発行のワークフロー化、不審操作監視、無効化
- ③ マルチプラットフォーム環境にエージェントプログラムを配付することなく実現
⇒ 運用負荷、構築リスク軽減

お客様事例③ ITソリューション -e文書-

【保険会社様】 経営会議議事録のe-文書化

日本版SOX法も視野に入れ、経営会議議事録等をイメージ化保存。事務処理の適正化とスピードアップを期待



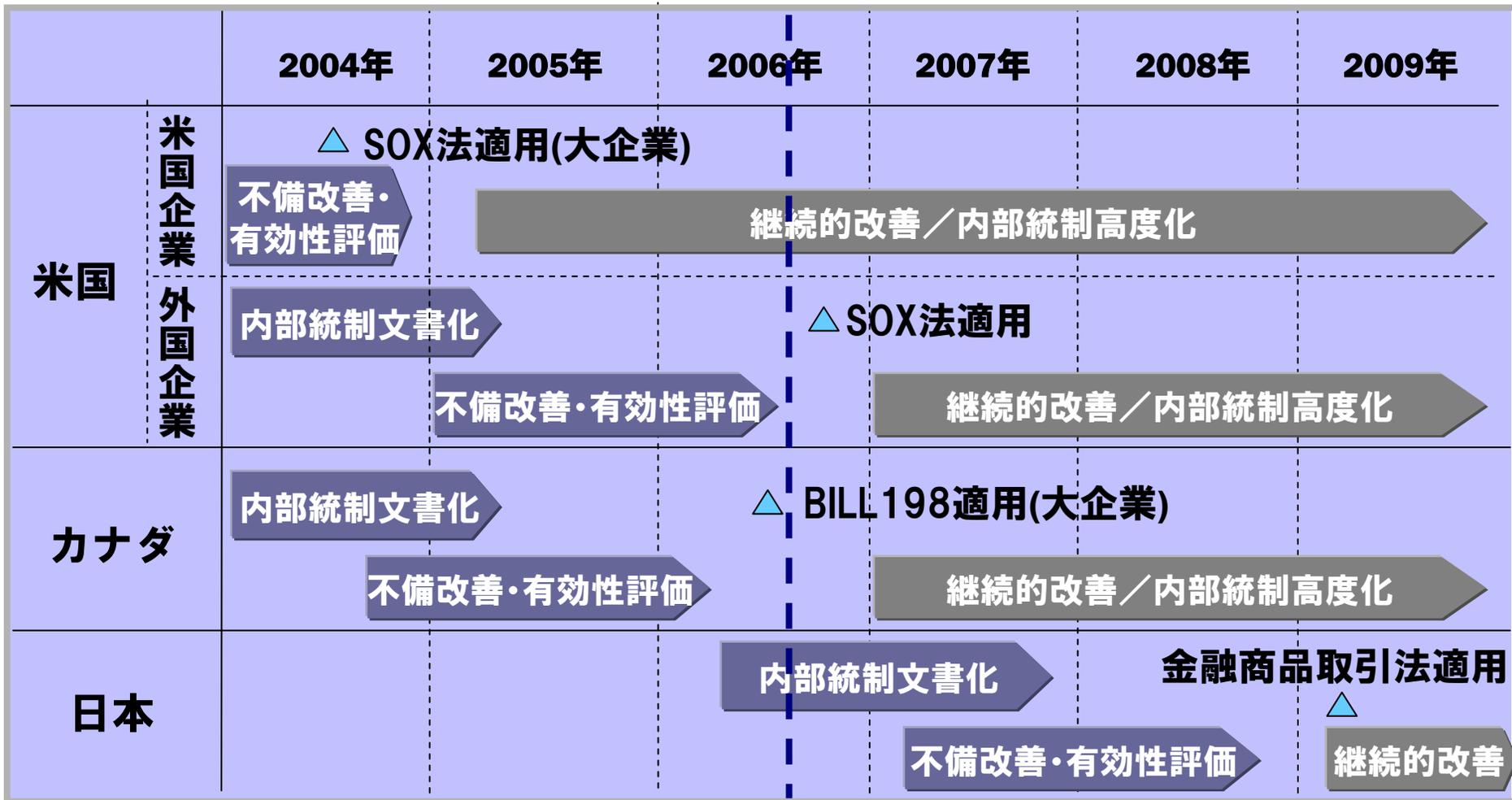
出席役員の押印行為を電子署名にて代替

⇒ 承認ログと承認対象文書の記録管理、法定備置義務への電子データによる対応

【ご参考】内部統制の高度化に向けて

～米国での取り組み～

各国における内部統制法制化の動向

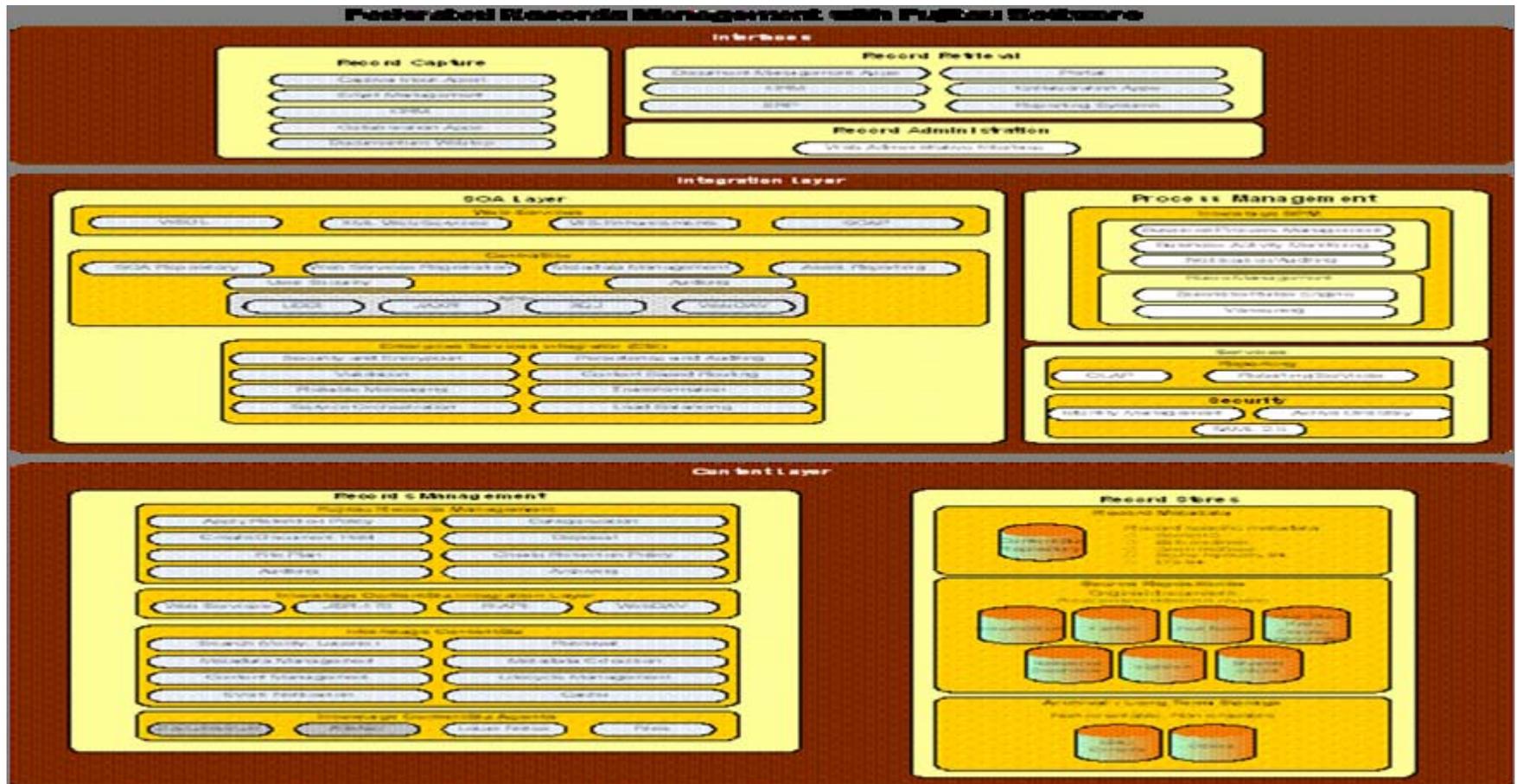


内部統制強化の方向性

- **リスク・統制ポイントの最適化**
 - ◆ 関連リスクの統合、軽微なリスクの排除
- **手動統制の自動化**
 - ◆ 2年目以降のテスト工数の削減
- **自動統制強化**
 - ◆ ワークフロー強化
 - ◆ 記録管理(Record Management)強化
 - ◆ レポート・モニタリング強化 ほか

統合記録管理 (Federated Records Management)

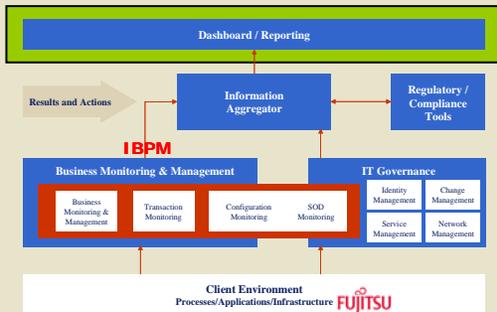
複数のレポジトリを跨がる情報の記録、利用(検索・閲覧)、廃棄、保全(HOLD)を統合的に制御する仕組みの構築



統制ポイント自動モニタリング ①

- エグゼクティブ・ダッシュボード -

Architectural view



Context

- The Executive Dashboard displays the current company financials
- Each financial statement line item (FSLI) has a “Risk Status” indicator, which aggregates the status of the associated controls
- This status indicator is based on thresholds defined by business rules

User view

The screenshot shows the 'FSW Sustained Compliance Solution - Microsoft Internet Explorer' browser window. The page title is 'Sustained Compliance Portal' and the date is 'Mar 22, 2006 1:09 P.M.'. The main content area is titled 'Financial Indicators' and displays a table of financial data for North America in Q1 2006. The 'Risk Status' column is highlighted with a yellow circle. Below the table are sections for 'Performance Indicators' and 'Control and Close Status' with a world map.

	Current YTD Actuals	Current YTD Plan	Current YTD Variance	Prev YTD Year Actual	Current Pd Actuals	Prev Pd Actuals	Risk Status
Net Income	\$48,905,706	\$44,416,529	10.11%	\$47,704,306	\$5,110,525	\$9,067,656	●
Total Pretax Income	\$69,601,757	\$64,596,153	7.73%	\$67,824,183	\$9,507,361	\$13,347,814	●
Pretax Income From Operations	\$84,807,429	\$79,534,874	6.63%	\$82,569,636	\$13,297,964	\$17,042,430	●
Gross Profit	\$255,757,463	\$247,264,459	3.18%	\$248,694,339	\$52,082,078	\$54,767,674	●
Net Revenue	\$679,901,781	\$667,564,619	1.85%	\$654,744,342	\$151,544,741	\$148,817,406	●
Cost of Sales	\$424,144,318	\$419,700,160	1.06%	\$406,050,003	\$99,462,663	\$94,049,732	●

統制ポイント自動モニタリング ②

- 統制評価スクリーン -

User View

IM: Inventory Management
 IM00 Managing Inventory
 IM01 Receiving and Storing Raw Materials

<<<< Controls to Financials Drill Up - Q1 2006 - North America
 Business Cycle -> Process -> Controls
 Loan Origination & Underwriting

Control Objective ID	Control Objective	Pass	Fail	Variance	Status
(ML1010)	All loan files contain current financial and collateral value information.	0	0	100%	●
(ML1020)	All loan originations and purchases are recorded.	0	0	100%	●
(ML1030)	All loans originated and purchased are executed within regulatory and legal guidelines.	4	1	80%	●
(ML1040)	All loans originated with related parties (or related party loans purchased) are appropriately approved and separately identified.	0	0	100%	●
(ML1050)	Collateral for loans originated or purchased exists, and the institution has a legal interest in such collateral.	0	0	100%	●
(ML1060)	Loan originations and purchases are accurately recorded.	1	2	33%	●
(ML1070)	Loan originations and purchases are recorded in the appropriate period.	0	0	100%	●
(ML1080)	Policies and procedures relating to loan underwriting and boarding are approved, documented and are reviewed and updated regularly.	0	0	100%	●
(ML1090)	Recorded loan originations and purchases represent loans originated or purchased by the institution.	0	0	100%	●

Context

- The assessment screen reflects the contents of the control framework
- The results of the automated testing for underlying controls are aggregated at the process level
- Green, Yellow and Red lights are used at the Process, Control Objective and the Control Activity levels to indicate the health status
- The status light can be used to drill further into the next level of detail

An integrated view of the control framework through the dashboard enables a single window of compliance

統制ポイント自動モニタリング ③

- ステータス・ドリルダウン -

User View

Control Objective ID	Control Objective	Pass	Fail	Variance	Status
(ML1010)	All loan files contain current financial and collateral value information.	0	0	100%	●
(ML1020)	All loan originations and purchases are recorded.	0	0	100%	●
(ML1030)	All loans originated and purchased are executed within regulatory and legal guidelines.	4	1	80%	●
(ML1040)	All loans originated with related parties (or related party loans purchased) are appropriately approved and separately identified.	0	0	100%	●
(ML1050)	Collateral for loans originated or purchased exists, and the institution has a legal interest in such collateral.	0	0	100%	●
(ML1060)	Loan originations and purchases are accurately recorded.	1	2	33%	●
(ML1070)	Loan originations and purchases are recorded in the appropriate system.	0	0	100%	●
(ML1080)	Policies are documented.				
(ML1090)	Recorded by the institution.				

Control Activity: Changes to loan pricing configuration files are properly approved.
 # of "Pass" (Transaction #)
 # of "Fail" (Transaction #)

Control Activity ID	Control Activity	Pass	Fail	Variance	Status
(ML102)	All authorized source documents supporting loan originations and purchases and changes to the loan master file are compared to the loan master file to ensure they were input properly.	0	0	100%	●
(ML104)	Changes to loan pricing configuration files are properly approved. Note: this control activity is not native to RACK.	1	2	33%	●
(ML110)	Loan files are independently reviewed for all required documentation and proper loan recording (including all loan fees, collateral, costs, discounts, premiums, etc.) and classification.	0	0	100%	●
(ML116)	Management has a process to appropriately classify loans as held for sale or held in portfolio at time of rate lock agreement between the two.				
(ML117)	Management reconciles detail accounts on a timely basis, with timely basis.				
(ML123)	Policies are in place for approval of portfolio.				

Workflow	Transaction	Monitoring Result
Persistence of Control Config		
	46472	●
	46526	●
	46581	●

	Current YTD Actuals	Current YTD Plan	Current YTD Variance	Prev YTD Year Actual	Current Pd Actuals	Prev Pd Actuals	Risk Status
Net Income	\$48,905,706	\$44,416,529	10.11%	\$47,704,306	\$5,110,525	\$9,067,656	●
Gross Profit	\$255,757,463	\$247,864,459	3.18%	\$248,694,339	\$52,082,078	\$54,767,674	●
Operating Expenses	\$170,950,034	\$168,329,585	1.56%	\$166,124,703	\$38,784,113	\$37,725,244	●
Interest Income	\$1,062,322	\$1,033,004	2.84%	\$1,031,036	\$251,659	\$245,194	●

Related Financial Statement Line Item (FSLI)

Context

- Beginning with the Process Level, the user can drill down into the Control Objectives and the Control Activities
- Each Control Activity links to the associated automated monitoring results, indicating where there is a need for remediation
- Control Activities also link to associated financial line items, indicating where there is risk for misstatement due to failing activity

An executive can view the health status of a control at every level of the Control Framework

統制ポイント自動モニタリング ④

- 財務報告勘定科目(FSLI)ビュー -

User View

Financials to Controls Drill Down
 Financial Statement Line Item -> Process
 -> Control Objective -> Control Activity
 -> CCM Result -> Risk Status

The screenshot shows a multi-level drill-down interface. At the top, a table of Financial Indicators is displayed for North America, Q1 2006. The 'Net Income' line item is highlighted. Below this, a table titled 'Financials to Controls Drill Down - Q1 2006 - North America' shows the 'Income Statement --> Line Item --> Process' path. The 'Net Income' process is expanded to show 'Loan Origination & Underwriting'. This process is further expanded to show 'Controls', specifically 'Loan originations and purchases are accurately recorded'. This control objective is expanded to show 'Control Activity', specifically 'Changes to loan pricing configuration files are properly approved'. A final table shows the 'Control Activity' results, including a 'Monitoring Result' table with a 'Risk Status' column.

Process ID	Process	Pass	Fail	Variance	Status
(FR03)	Defining the Financial Closing and Reporting Process	0	0	100%	●
(FR20)	Performing the Accounting Period Close	2	1	67%	●
(ML10)	Loan Origination & Underwriting	1	0	100%	●

Control Objective ID	Control Objective	Pass	Fail	Variance	Status
(ML1060)	Loan originations and purchases are accurately recorded.	1	0	100%	●
(ML1010)	All loan status, current financial and collateral value information.	0	0	100%	●

Control Activity	Pass	Fail	Variance	Status
Changes to loan pricing configuration files are properly approved. Note: this control activity is not native to RACK.	1	0	100%	●

Workflow	Transaction	Monitoring Result
Persistence of Control Config	46472	●
	46526	●
	46503	●

	Current YTD Actuals	Current YTD Plan	Current YTD Variance	Prev YTD Year Actual	Current Pd Actuals	Prev Pd Actuals	Risk Status
Net Income	\$48,905,706	\$44,416,529	10.11%	\$47,704,306	\$5,110,525	\$9,067,656	●
Gross Profit	\$255,757,463	\$247,864,459	3.18%	\$248,694,339	\$52,082,078	\$54,767,674	●
Operating Expenses	\$170,930,034	\$168,339,385	1.56%	\$166,124,703	\$38,784,113	\$37,725,244	●
Interest Income	\$1,062,322	\$1,033,004	2.84%	\$1,031,036	\$251,659	\$245,194	●

Context

- Each FSLI is dependent on the effectiveness of controls
- Beginning with the Home Financials, the user can drill down through the related Processes, Control Objectives and Control Activities
- Each Control Activity links to the associated automated monitoring results, indicating the level of risk and where there is need for remediation
- Control Activities link to the associated FSLI's

Executive can instantly spot the Control Activities causing potential risk to different FSLIs

Financials to Controls Drill Down
 Gross Profit -> Loan Origination & Underwriting
 -> Loan originations and purchases are accurately recorded
 -> Changes to loan pricing configuration files are properly approved

統制ポイント自動モニタリング ⑤

- 404ダッシュボード -

User View

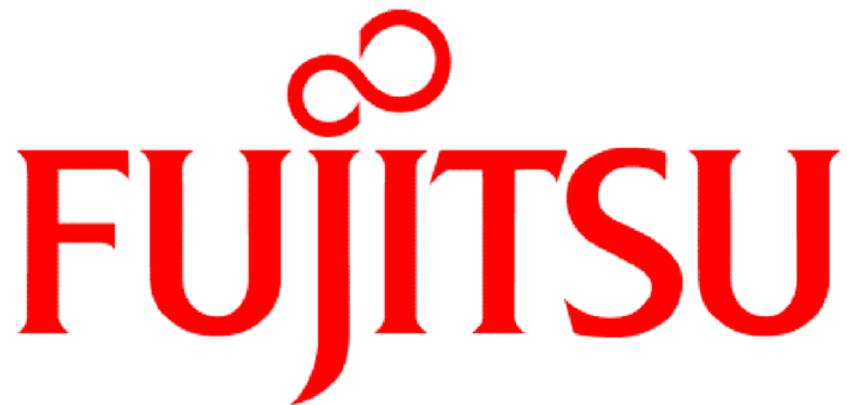
Test Results Aggregation for 404 database
-> Pass or Fail against Pre-configured Benchmark

The screenshot shows the SOX Express web application interface. The browser window title is "SOX Express - Test Results - Microsoft Internet Explorer". The address bar shows the URL: "http://soxw2s2mp25:7009/sox/object.folder.view.do?start=compliance.objectFolderView.SOXTestResult&target=SOXTestResult". The page header includes "OPENPAGES SOX Express" and "SOXAdministrator" with links for "Logout", "About", and "Help". The main content area is titled "Current Reporting Period > Test Results". Below this, there is a "Reporting Period" dropdown menu set to "Current Reporting Period". A "Test Results" section contains buttons for "Add New...", "Add Folder...", "Move To...", "Rename...", and "Delete". A table with columns "Name", "Description", "Reviewer Conclusion", and "Is This A Retest" is shown. The table initially displays "There are no test results." A red arrow points from this text to a second screenshot of the same interface, which now displays three test results. A red box with the text "Perform Aggregation" is positioned between the two screenshots, with arrows indicating the transition.

Name	Description	Reviewer Conclusion	Is This A Retest
There are no test results.			
Top			
Current Reporting Period > Test Results			
Reporting Period: Current Reporting Period			
Test Results			
Add New... Add Folder... Move To... Rename... Delete			
Name	Description	Reviewer Conclusion	Is This A Retest
<input type="checkbox"/> DemoEntity			
<input checked="" type="checkbox"/> Automated Test Result for Test_TST-FR402	Automated Test Result created by the Fujitsu IBPM Compliance Monitor		No
<input checked="" type="checkbox"/> Automated Test Result for Test_TST-ML104	Automated Test Result created by the Fujitsu IBPM Compliance Monitor		No
<input checked="" type="checkbox"/> Automated Test Result for Test_TST-ML111	Automated Test Result created by the Fujitsu IBPM Compliance Monitor		No

Context

- An aggregation flow is triggered in the backend to aggregate the monitoring results and log the consolidated result into the 404 database
- The aggregator compares the monitoring results with a pre-configured benchmark to decide the **Pass** or **Fail** outcome
- After the aggregation, the test results could be seen in the 404 dashboard or the Executive Dashboard if so desired



FUJITSU

THE POSSIBILITIES ARE INFINITE

免責事項

このプレゼンテーション資料、及びミーティングで配布されたその他の資料や情報、及び質疑応答で話した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。

実際の結果・業績または事象に影響を与えうるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます（但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません）

- ・富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域（アメリカ合衆国、EU諸国、日本、その他アジア諸国など）のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客のIT支出に影響を及ぼすような経済環境要因。
- ・急速な技術変革や顧客需要の変動。及び富士通が参入しているIT市場、通信市場、電子デバイス市場での激しい価格競争。
- ・他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性。およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。
- ・特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。
- ・富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。
- ・富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表に与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを補うために追加拠出される費用の発生による影響
- ・顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収不能によって、当社が被る損害の影響
- ・富士通が売上高をあげている主な国の通貨、および富士通が資産や負債を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動により発生する為替差損益の影響（特に、日本円と、イギリスポンド、アメリカドルとの間の為替差損益の影響）